

# フォーラム 新しい絆

～家族と暮らせない子どもたちのために～



親の病気や死亡、  
 育児放棄や虐待などから、  
 家庭環境を失った子どもたちが増えています。  
 帰るべき家庭がなく、小さな胸に、  
 心細さや不安でいっぱいの子もたち。  
 その子どもたちを抱きとめる「もう一つの家庭」  
 ー里親さんたち。それを支える地域の人々の輪ー  
 それがきっと、子どもにやさしいまちづくりに  
 つながっていくのではないのでしょうか。

## 講演

『『おうちのごはん』はいいね  
 ～横堀ホーム設立への思いと三十年の暮らしの中から』

講師：横堀 三千代 さん（横堀ホーム）

『実子として里親家庭をともに生きて  
 ～養育への参加と里親研究を通して』

講師：横堀 昌子 さん（南山学院女子短期大学 子ども学科准教）

日時 2011年9月10日(土) 13:30～16:00

会場 あいれふ福岡市婦人会館 (福岡市中央区舞鶴2-5-1)

9F大研修室 定員150名(先着順)

託児：20名

事前にお申し込み下さい

●主催：ファミリーシップふくおか（里親養育支援共働事業実行委員会）・福岡市

お問い合わせ  
 申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡  
 TEL&FAX 092-716-5095  
 E-Mail kodomo-npo.cf@rose.ocn.ne.jp

参加費：無料

裏面の申込用紙をご利用下さい

# プログラム



ファミリーシップふくおか  
(里親養育支援共働事業実行委員会)



FAMILYSHIP FUKUOKA

## 基調報告 「笑い声がある暖かい家庭は初めて！ ～里親委託された少女」

講師：河浦 龍生 さん (福岡市こども総合相談センターこども緊急支援課長)

## 講演

## 『「うちのごはん」はいいね～横堀ホーム設立への思いと三十年の暮らしの中から』

講師：横堀 三千代 さん (横堀ホーム)

### <横堀三千代さんプロフィール>

群馬県内の児童養護施設で約三十年職員として勤務した後、退職。夫（故・横堀 哲夫）とともに里親登録し、ファミリー・グループホーム 横堀ホームを設立（1982年）。以来、家庭的な生活を必要とする子ども・大人と暮らす。地域での母子保健推進員、食生活改善推進員、小中学校での料理教室等の講師も務める。社会的養護関係のほか幼稚園から大学までの講演活動も。元・日本ファミリーホーム協議会相談役、前・群馬県里親会副会長。

## 「実子として里親家庭をともに生きて ～養育への参加と里親研究を通して」

講師：横堀 昌子 さん (青山学院女子短期大学 子ども学科准教)

### <横堀昌子さんプロフィール>

幼少期より家族から離れた子ども・大人と生活。大学院修了後、児童養護施設勤務。横堀ホームでも再親と働いた後、青山学院兼任。現在、青山学院女子短期大学子ども学科准教授。社会的活動として、厚生労働省社会保障審議会児童部会国立児童自立支援施設処遇支援専門委員会委員、養子と里親を考える会理事、日本ファミリーホーム協議会顧問、東京都里親支援機関事業スーパーブライザー、資生堂社会福祉事業財団「世界の児童と母性」誌編集委員長等。施設職員研修や里親・子育て支援、医療職支援の講演活動も展開中。



**会場** あいれふ 福岡市健康づくりセンター  
福岡市中央区舞鶴 2-5-1

## フォーラム 「新しい絆」

参加申込票

2011.9.10

(ふりがな)

お名前

ご住所 〒

TEL /

FAX /

E-mail

所属

託児希望の場合：お子さんの名前と性別・年齢

お問い合わせ  
申し込み先

特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡

TEL&FAX 092-716-5095

E-Mail kodomo-npo.cf@rose.ocn.ne.jp

\* 必要事項をご記入の上、このままFAXしてください。メールでも受付いたします。（記載内容は上記のとおりです）

\* 受付は先着順となります。受付票は発行いたしませんので、当日直接会場にお越し下さい。

※尚、この名簿は、当日の受付や実行委員会の中での参加者所属割合などのデータとして使用致します。

これからも、このようなフォーラムの案内などを希望される方は、すべての項目にご記入をお願い致します。

